

平たんまをニルウの布国

昔ふとんをワくる時わたの工にすわたをうす

く9ほしぬたをしワホリつゝまよろほのほし

たまぢろん私でほすい母かおとんをうくる

~~時~~ の手伝いをい

布国をワくる9ほ大變な仕事だつたのをあは

えついでる昔の主婦は家内での仕事をしてた

くきん子つた季節ごとウ布国ばかりでな

着物のきん張り上着を布ほしんし針木綿ほ

板ばり 怪しい毛障子の張りがかえすたわの手入

季節の変わり目に信いも着るものもかえて行く

めりはりがありそれが子供にとつたらしみ

でもあつた

今布団一枚買つのに送つていら
一キロにする

か一、五キロにするか
これはうすたの量だ

一キロは合がゆ
一、五キロはかゆ
〇五キロは肌か

け、
わたの布団ここの何年かの妻は（不織）から羽毛
今は知らん

だがその前の羽毛はフエガムからと年々の毛

のだつた
今あつた
さうしたものの

のは昔からあつたがそれをつま物にしていな

3

かつた 麻もそろだ 今年もたう森の市園が

夏~~解~~用として話題に上った

うらたの市園つまりエルウ市園 しかも

何れの物を買ろやんでこれから世の中変化

すると思うがまさか市園を穿るのに河ははし

うすかといふほどいた 今回一ははした